

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	幼児と音楽表現（器楽）	
コース名	幼児保育コース			担当者	大澤	
学 年	1年			教科番号	1901	単位数 0.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	ピアノ個人レッスン					
到達目標	ピアノの基礎演奏技術の習得を目標。保育現場ですぐに活用できる、日常保育曲や音楽リズム曲の弾き歌いができるようにする。					
教材名	音楽ピアノ教本（近畿大学九州短期大学） 授業内で適宜プリント配布					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園教諭の経験を有する教員					
履修に あたっての 留意点	毎日課題曲の個人練習を行いましょう。授業開始20分以降の遅刻は欠席扱いとなります。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	35%	0%	35%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	試験対策練習
2	試験対策練習
3	試験対策練習
4	試験対策練習

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	幼児と音楽表現（声楽）	
コース名	幼児保育コース			担当者	横尾	
学 年	1年			教科番号	1902	単位数 0.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
			○			
授業概要	絵本読み聞かせ/発声練習/コールユーブンゲン/コンコーネ/わらべ歌・手あそび・童謡/リズム/アンサンブル等、各項目のまとめ、及び、コンコーネ・コールユーブンゲンの試験。					
到達目標	<p>【保育のための音楽技術の習得、資質の向上】</p> <p>基礎力、テクニック ・リズムを聴いて、即座に模倣できる ・リズム譜を見て、正確に打つことができる ・簡単なリズムを創作することができる ・楽譜を正確に読めて、正確なリズム・音程で歌うことができる ・拍子を感じて歌える フレーズを感じて歌うことができる ・曲のニュアンスをやま場を感じて歌うことができる ・伴奏付けに必要な、和音・コードネームを理解する ・基本的な楽器奏法ができ、ふさわしい音色で演奏できる・互いの音を聴きながら、楽しくアンサンブルできる</p> <p>表現力 ・自ら音楽を楽しんでいる ・歌詞を理解しイメージを膨らませて味わうことができる・心に感じたことを心を込めて歌うことができる・豊かな想像力を持ち、自分独自の表現力がある</p> <p>指導力 ・子どもを音楽にひきつける力を持っている ・コミュニケーションの力がある・遊びを促す合図や、展開ができる ・弾き歌いができる</p>					
教材名	音楽 I 《声楽教本》※併用教材(「こどものうた200」「続こどものうた200」「こどものうた100」/チャイルド本社、たのしくおどろう手あそびうた/成美堂出版) /その他、必要に応じてコピー配布					
資格の 取得目標	保育現場で、すぐに実践できる音楽技術・表現力・指導力を身に着けること。					
授業内容と 教員の実務経験の 関連性	楽器メーカーで音楽指導者としての経験					
履修に あたっての 留意点	各自、積極的に授業を受け、実践し、保育のための音楽面の基礎力・テクニック・表現力・指導力において、各自の課題を見つけ努力し、成果が見られること。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	25%	0%	25%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン・コンコーネ試験曲、全体レッスン及び個人レッスン/童謡/アンサンブル等各項目のまとめ。
2	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン・コンコーネ試験曲、全体レッスン及び個人レッスン/童謡/アンサンブル等各項目のまとめ。
3	試験曲個人レッスン。授業の補足事項。
4	声楽試験の実施。授業の補足事項とまとめ。

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	ピアノレッスンⅠ	
コース名	幼児保育コース			担当者	大澤	
学 年	1年			教科番号	1903	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	ピアノ個人レッスン					
到達目標	ピアノの基礎演奏技術の習得を目標。保育現場ですぐに活用できる、日常保育曲や音楽リズム曲の弾き歌いが出来るようにする。					
教材名	音楽ピアノ教本（近畿大学九州短期大学） 授業内で適宜プリント配布					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園教諭の経験を有する教員					
履修に あたっての 留意点	毎日課題曲の個人練習を行いましょ。授業開始20分以降の遅刻は欠席扱いとなります。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	25%	10%	30%	35%	0%	100%

回数	講義内容
1	①音価の練習 ②5指の練習(ハ長調) ③ハ長調の音階 ④黒鍵の即興演奏
2	①音価の練習 ②5指の練習(ハ長調) ③ハ長調の音階 ④左手のコード奏(ハ長調)
3	①音価の練習 ②5指の練習(ハ長調) ③ハ長調の音階 ④左手のコード奏(ハ長調)
4	①ちょうちょう ②かえるの合唱
5	①ちょうちょう ②かえるの合唱
6	①むすんでひらいて(マーチ) ②いとまき(マーチ) ③うさぎとかめ(マーチ)
7	①むすんでひらいて(マーチ) ②いとまき(マーチ) ③うさぎとかめ(マーチ)
8	①5指の練習(ト長調) ②ト長調の音階 ③左手のコード奏(ト長調) ④ちょうちょ(マーチ)
9	①5指の練習(ト長調) ②ト長調の音階 ③左手のコード奏(ト長調) ④ちょうちょ(マーチ)
10	①ビーマーチ(マーチ) ②きらきらぼし(マーチ)
11	①ビーマーチ(マーチ) ②きらきらぼし(マーチ)
12	①5指の練習(ヘ長調) ②ヘ長調の音階 ③左手のコード奏(ヘ長調) ④チューリップ
13	①5指の練習(ヘ長調) ②ヘ長調の音階 ③左手のコード奏(ヘ長調) ④チューリップ
14	①ぶんぶんぶん ②ジングルベル
15	①ぶんぶんぶん ②ジングルベル
16	ピアノ発表会曲決め
17	①5指の練習(ニ長調) ②に1長調の音階 ③左手のコード奏(に1長調) ④発表会曲
18	①5指の練習(ニ長調) ②に1長調の音階 ③左手のコード奏(に1長調) ④発表会曲
19	①バイエル48番 ②発表会曲
20	①バイエル66番 ②発表会曲
21	①とんとんとんとんひげじいさん ②発表会曲
22	①ミッキーマウスマーチ ②発表会曲
23	①メリーさんのひつじ ②発表会曲
24	①発表会曲
25	①発表会曲
26	①発表会曲
27	試験曲公示
28	試験対策練習
29	試験対策練習
30	試験対策練習
31	試験対策練習
32	試験対策練習

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	ピアノレッスンⅡ	
コース名	幼児保育コース			担当者	大澤	
学 年	1年			教科番号	1904	単位数 3.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
			○			
授業概要	ピアノ個人レッスン					
到達目標	ピアノの基礎演奏技術の習得を目標。保育現場ですぐに活用できる、日常保育曲や音楽リズム曲の弾き歌いができるようにする。					
教材名	音楽ピアノ教本（近畿大学九州短期大学） 授業内で適宜プリント配布					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園教諭の経験を有する教員					
履修に あたっての 留意点	毎日課題曲の個人練習を行いましょう。授業開始20分以降の遅刻は欠席扱いとなります。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	35%	0%	35%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	①音価の練習 ②5指の練習(ハ長調) ③ハ長調の音階 ④黒鍵の即興演奏
2	①音価の練習 ②5指の練習(ハ長調) ③ハ長調の音階 ④左手のコード奏(ハ長調)
3	①音価の練習 ②5指の練習(ハ長調) ③ハ長調の音階 ④左手のコード奏(ハ長調)
4	①ちょうちょう ②かえるの合唱
5	①ちょうちょう ②かえるの合唱
6	①むすんでひらいて(マーチ) ②いとまき(マーチ) ③うさぎとかめ(マーチ)
7	①むすんでひらいて(マーチ) ②いとまき(マーチ) ③うさぎとかめ(マーチ)
8	①5指の練習(ト長調) ②ト長調の音階 ③左手のコード奏(ト長調) ④ちょうちょ(マーチ)
9	①5指の練習(ト長調) ②ト長調の音階 ③左手のコード奏(ト長調) ④ちょうちょ(マーチ)
10	①ビーマーチ(マーチ) ②きらきらぼし(マーチ)
11	①ビーマーチ(マーチ) ②きらきらぼし(マーチ)
12	①5指の練習(ヘ長調) ②ヘ長調の音階 ③左手のコード奏(ヘ長調) ④チューリップ
13	①5指の練習(ヘ長調) ②ヘ長調の音階 ③左手のコード奏(ヘ長調) ④チューリップ
14	①ぶんぶんぶん ②ジングルベル
15	①ぶんぶんぶん ②ジングルベル
16	ピアノ発表会曲決め
17	①5指の練習(ニ長調) ②に1長調の音階 ③左手のコード奏(に1長調) ④発表会曲
18	①5指の練習(ニ長調) ②に1長調の音階 ③左手のコード奏(に1長調) ④発表会曲
19	①バイエル48番 ②発表会曲
20	①バイエル66番 ②発表会曲
21	①とんとんとんとんひげじいさん ②発表会曲
22	①ミッキーマウスマーチ ②発表会曲
23	①メリーさんのひつじ ②発表会曲
24	①発表会曲
25	①発表会曲
26	ピアノ発表会
27	試験対策練習
28	試験対策練習

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	声楽レッスン	
コース名	幼児保育コース			担当者	横尾	
学 年	1年			教科番号	1905	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
			○			
授業概要	絵本読み聞かせ／発声練習／コールユーブンゲン／コンコーネ／わらべうた・遊び歌・童謡／リズム／楽器奏法・アンサンブル					
到達目標	<p>【保育のための音楽技術の習得、資質の向上】</p> <p>基礎力、テクニック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムを聴いて、即座に模倣できる・リズム譜を見て、正確に打つことができる ・簡単なリズムを創作することができる・楽譜を正確に読めて、正確なリズム・音程で歌うことができる ・拍子を感じて歌える フレーズを感じて歌うことができる ・曲のニュアンスをやま場を感じて歌うことができる・伴奏付けに必要な、和音・コードネームを理解する ・基本的な楽器奏法ができ、ふさわしい音色で演奏できる・互いの音を聴きながら、楽しくアンサンブルできる <p>表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら音楽を楽しんでいる・歌詞を理解しイメージを膨らませて味わうことができる ・心に感じたことを心を込めて歌うことができる・豊かな想像力を持ち、自分独自の表現力がある <p>指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを音楽にひきつける力を持っている・コミュニケーションの力がある 					
教材名	音楽Ⅰ《声楽教本》※併用教材(「こどものうた200」「続こどものうた200」「こどものうた100」/チャイルド本社、たのしくおどろう手あそびうた/成美堂出版)/その他、必要に応じてコピー配布					
資格の 取得目標	幼児の模範となる自然な発声と発音、正確な読譜・音程・リズム 幼児と音楽を楽しく共有するに相応しい、コミュニケーション能力、及び豊かなイメージや感性を伴った音楽表現力					
授業内容と 教員の実務経験の 関連性	楽器メーカーで音楽指導者としての経験					
履修に あたっての 留意点	授業のポイント、自分に必要と思われるポイントのメモを取ることも評価の対象とする。授業の復習が行われているかどうか、評価の対象とし、実践力の定着を図る。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	25%	0%	25%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 2度音程/コンコーネNo.1/童謡/アンサンブル
2	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 2度音程/コンコーネNo.1/童謡/アンサンブル
3	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 3度音程/コンコーネNo.1/童謡/アンサンブル
4	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 3度音程/コンコーネNo.2/童謡/アンサンブル
5	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 4度音程/コンコーネNo.2/童謡/アンサンブル
6	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 4度音程/コンコーネNo.2/童謡/アンサンブル
7	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 4度音程/コンコーネNo.3/童謡/アンサンブル
8	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 4度音程/コンコーネNo.3/童謡/アンサンブル
9	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 5度音程/コンコーネNo.3/童謡/アンサンブル
10	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 5度音程/コンコーネ復習/童謡/アンサンブル
11	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 5度音程/コンコーネ復習/童謡/アンサンブル
12	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 5度音程/コンコーネ復習/童謡/アンサンブル
13	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲決め/コンコーネ試験曲決め/童謡/アンサンブル
14	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲決め/コンコーネ試験曲決め/童謡/アンサンブル
15	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲/コンコーネ試験曲/童謡/アンサンブル
16	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲/コンコーネ試験曲/童謡/アンサンブル

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教育心理学	
コース名	幼児保育コース			担当者	荻野	
学 年	1年			教科番号	1906	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	保育士・幼稚園教諭として必要な基礎知識として、心理学の誕生、研究方法、教育効果を高めるための心理的技術等についての知識と態度を養う。					
到達目標	保育士・幼稚園教諭として必要な基礎知識として、心理学の誕生、研究方法、教育効果を高めるための心理的技術等についての理解を深め、保育の現場で生かすことができる。					
教材名	「保育に生かす教育心理学」伊藤健次編 （株）みらい					
資格の 取得目標	保育士・幼稚園教諭・社会福祉主事					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	高校での勤務経験と校長としての勤務経験がある教員					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	50%	20%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	教育心理学とは
2	教育心理学の方法
3	教育評価の目的
4	保育における評価の特徴と視点
5	発達障害のある子どもの教育・保育
6	保育の中で生かす教育心理学
7	保育者のカウンセリングマインド
8	子どもをめぐる教育的問題

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	幼児の心理学	
コース名	幼児保育コース			担当者	荻野	
学 年	1年			教科番号	1907	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	保育士・幼稚園教諭として必要とされる、乳幼児の感情や言語の発達、認知やパーソナリティの発達についての知識を習得する。					
到達目標	保育士・幼稚園教諭として必要とされる、乳幼児の感情や言語の発達、認知やパーソナリティの発達について理解を深め、それを実際に生かすことができる。					
教材名	「保育に生かす教育心理学」伊藤健次編（株）みらい					
資格の 取得目標	保育士・幼稚園教諭・社会福祉主事					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	高校での勤務経験と校長としての勤務経験がある教員					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	50%	20%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	保育に生かす教育心理学
2	生物学的存在から人間的存在
3	養育者との愛着関係
4	自己意識の発達
5	言葉と認知機能の発達
6	遊びと子どもの発達
7	学びの動機付け
8	パーソナリティの発達

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	健康（指導法）	
コース名	幼児保育コース			担当者	新井	
学 年	1年			教科番号	1908	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	<p>子どもの健康を考えるには、心身の自然で正常な発育を理解し、各成長段階での特徴や注意すべき要点を理解することが必要である。本授業では子どもの成長・発達・発育や身体のメカニズム、注意すべき子どもの疾病、精神保健等について学ぶ。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・WHO健康の定義が説明できる。 ・健康増進に必要なものを説明できる。 ・子どもの成長・発達の要点について学び、乳幼児期の特徴が説明できる。 ・スキャモンの発育曲線について説明できる。 ・感覚器や運動機能、精神の発達を学び、発達段階での特徴や注意点を説明できる。 ・身体発育に影響を及ぼす要因について説明できる。 ・体のメカニズム（体温、水分代謝、循環、呼吸、消化・吸収、免疫等）について学び、乳幼児期の特徴を説明できる。 ・乳幼児期に注意すべき疾病の要点や緊急時の対応について説明できる。 					
教材名	プリント配布					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	歯科医師である教員					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	70%	0%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	健康の概念(WHO健康の定義、成長・発達・発育とは、健康増進に必要なもの)
2	子どもの成長・発達①(成長にともなう体型の変化、Scammonの発育曲線、子どもの成長・発育のポイント)
3	子どもの成長・発達②(身体発育の評価、大泉門・小泉門、歯の萌出時期、骨の発育)
4	感覚器の発達(目、耳、皮膚、舌、鼻)
5	運動機能の発達(運動の発達、原始反射)
6	精神発達(知能、ことば、情緒)
7	子どもの成長・発育のまとめ①
8	子どもの成長・発育のまとめ②
9	子どもの発達と事故
10	体のメカニズム①
11	体のメカニズム②
12	子どもの疾病①
13	子どもの疾病②
14	子どもの精神保健①
15	子どもの精神保健②
16	緊急時の対応

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	健康科学	
コース名	幼児保育コース			担当者	小林	
学 年	1年			教科番号	1909	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	まず健康とは心身のどのような状態を指すのか改めて考えます。そして健康の維持増進に寄与できると考えられているスポーツを含めた身体活動と健康との関係について身に付けてほしい基礎的な内容を学びます。さらに、現代社会でますますその存在感を増しているスポーツについても様々な視点から学びます。					
到達目標	①健康、体力、身体活動、スポーツ、トレーニングなど、この講座のキーワードの概念を理解できる。 ②現代社会における、それらのキーワードに関連した諸問題について深く考えることができる。					
教材名						
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	高等学校保健体育教諭の経験、大学の非常勤講師として「健康・スポーツ科学」授業担当の経験					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	50%	20%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	健康観の変遷、WHOの定義、現代人の抱える健康問題
2	体力の種類、健康と体力との関係、発育発達と体力
3	運動処方、トレーニングの科学的基礎、トレーニングの生活化
4	スポーツのとらえ方の変化、多様なスポーツ、学校教育とスポーツ
5	余暇とスポーツ、プロスポーツ、レクリエーション
6	生涯スポーツ、Sports for Allの考え方、地域社会とスポーツ
7	オリンピック・パラリンピックの歴史、2020東京オリンピック・パラリンピック、オリンピック・パラリンピックの諸問題
8	全体をとおしてのまとめ

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	生涯スポーツ	
コース名	幼児保育コース			担当者	小林	
学 年	1年			教科番号	1910	単位数 1.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
			○			
授業概要	スポーツを年齢や体力、運動能力に関係なく生涯にわたって楽しむことができるように、受講学生の実態に合わせてそれぞれの種目をレクリエーション的におこないます。また、健康づくりや体力向上のためのエクササイズをとおし、自分の身体を見つめる機会をつくります。					
到達目標	<p>①スポーツでは受講者数や技能レベルに応じ、自分たちで話し合いながら練習方法や試合形式を考え楽しんでプレーできるようになること。</p> <p>②各種のエクササイズ（特定の目的をもった運動）に取り組みながら、自分の身体コンディションに関心をもち自分で簡単なトレーニングメニューが作れるようになること。</p>					
教材名	必要に応じてプリントを配布する。					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	高等学校保健体育教諭の経験、大学の非常勤講師として「健康・スポーツ科学」授業担当の経験					
履修に あたっての 留意点	授業の内容は全身を使う身体活動です。体調を整えて出席してください。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	30%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	W-upや C-downのやり方、筋カトレーニングで怪我予防に役立てる方法、アルティメットのルールと基本技能習得
2	W-upや C-downのやり方、筋カトレーニングで怪我予防に役立てる方法、アルティメットのルールと基本技能習得
3	ウォーキング・ジョギングのスピード変化と心拍数の変化を実習形式で確認、アルティメットのゲーム①
4	ウォーキング・ジョギングのスピード変化と心拍数の変化を実習形式で確認、アルティメットのゲーム①
5	様々な動きづくりトレーニングによる巧み性の改善、アルティメットのゲーム②
6	様々な動きづくりトレーニングによる巧み性の改善、アルティメットのゲーム②
7	自分の体重を利用した筋カトレーニング
8	自分の体重を利用した筋カトレーニング
9	卓球・バドミントンのゲームを楽しめるよう、ルールを理解し基本技能を身に付ける
10	卓球・バドミントンのゲームを楽しめるよう、ルールを理解し基本技能を身に付ける
11	ソフトバレーボールのゲームを楽しめるよう、ルールを理解し基本技能を身に付ける
12	ソフトバレーボールのゲームを楽しめるよう、ルールを理解し基本技能を身に付ける

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	デッサン	
コース名	幼児保育コース			担当者	亀田	
学 年	1年			教科番号	1911	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	鉛筆デッサン；幾何形体／静物 実習 ・定期試験は行わない					
到達目標	（１）成人と子供の絵の考え方の区別を明確に判断する上で、デッサン；鉛筆単色による物体の把握によって、基本的描写力；遠近法、構図法、明暗、質感表現、道具の使い方を習得できる。（２）客観的な表現と主観的な表現との違いを理解できる。（３）幾何形体においては一般的な遠近法と子ども遠近法の違いについて、また構図のとりかたの違いについても理解できる。					
教材名	デッサンに関するプリント配布 デッサン用具					
資格の取得目標						
授業内容と教員の実務経験の関連性	美術に関する業務経験を有する教員					
履修にあたっての留意点	成人としての客観的造形の把握力・チャレンジ性・集中力					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	0%	70%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	道具の説明・鉛筆のけ刷り方・線の扱い方・描写とは
2	鉛筆の塗りの練習
3	遠近法の説明
4	遠近法 ①立方体
5	同
6	明暗 ②球
7	同
8	静物デッサンⅠ 質感表現 ブロック
9	同
10	静物デッサンⅡ (ワイン瓶)
11	同
12	同
13	静物デッサンⅡ (缶)
14	同
15	総括・講評
16	同

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	造形表現（指導法）	
コース名	幼児保育コース			担当者	亀田	
学 年	1年			教科番号	1912	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	指導する立場を前提の上、色彩、平面構成、透明水彩画法、不透明水彩画法、各種素材による技法を画用紙などに行う。色彩に関してはワークブックを使用して行う。毎回の課題によって進行。試験は行わない。					
到達目標	（1）色彩の基本的な要素（三属性・季節感・色彩対比など）、材料の特質や安全性、水彩表現においては透明と不透明絵具の違いなどを理解できるようになる。（2）実感として、広い範囲で幼児の多くが使う技法を体験し、サンプルを作成し、系統化して理解できるようになる。					
教材名	BASIC ART WORKBOOK（HEXAS/亀田洋二著）色彩の基本（HEXAS/亀田洋二著）トータルカラー（日本色彩研究所）その他各種水彩絵具他					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	美術に関する業務経験を有する教員					
履修に あたっての 留意点	客観的表現力、観察力、展開力・チャレンジ性・授業態度					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	70%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	色彩・色の研究／色の三属性等概説・平面構成①四季の表現／ワークブック
2	同
3	色彩の対比／強調する色／平面構成(対比)／ワークブック
4	同
5	水彩表現Ⅰ-1／材料概説(透明画法)野菜モチーフ
6	同
7	水彩表現Ⅰ-2／材料概説(透明画法)植物モチーフ
8	同
9	水彩表現Ⅱ(材料の研究)サンプル作成／[デカルコマニー、クレヨンの併用(パチック)]
10	同
11	同／[ドリッピング、スクラッチ、コラーージュ]
12	同
13	水彩表現Ⅲ／不透明水彩(アクリルガッシュ)厚塗りなど、同じ水彩でも特性の違いを知る
14	同
15	講評と材料に関する指導法、概説
16	同
17	スクーリング1日目
18	スクーリング1日目
19	スクーリング1日目
20	スクーリング1日目
21	スクーリング2日目
22	スクーリング2日目
23	スクーリング2日目
24	スクーリング2日目

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	英会話 I	
コース名	幼児保育コース			担当者	筒井	
学 年	1年			教科番号	1913	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	幼児教育に必要な基本単語、英語の歌、正しい発音を学ぶ。 英会話に必要な基本的言い回しを習得する。					
到達目標	幼児教育に携わる上で必要とされる基本的な英語の知識を習得する。 発音：英語の子音と母音を正しく発音できるようにする。 単語：Picture Dictionaryを使い英語圏で幼児が良く使う約1,500語を覚える。 コミュニケーション：英会話に必要な基本的文法を総復習し、英語でのコミュニケーション力を向上する。					
教材名	Happy English for Children、The Longman Picture Dictionary、プリント					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	英語講師と通訳業務に従事する教員					
履修に あたっての 留意点	英語での積極的なアウトプット					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	40%	20%	10%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	基本表現 (発音: 数字で発音チェック, テキスト: Unit 1, 単語: Place1), レポート
2	園内・道案内 (発音: 母音復習, テキスト: Unit 2, 単語: Place2), レポート
3	登園時 (発音: 子音復習, テキスト: Unit 3, 単語: Numbers復習)
4	工作の時間 (歌: Ten Little Pumpkins, テキスト: Unit 4, 単語: School2)
5	場所の表現 (テキスト: Unit 5, 単語: Positions復習)
6	園庭での会話 (テキスト: Unit 6, 単語: Places3), レポート
7	食・保健 (テキスト: Unit 7, 単語: Homes1), レポート
8	義務、命令 (歌: Twinkle, Twinkle Little Star, テキスト: Unit 8, 単語: Homes2)
9	降園時 (テキスト: Unit 9, 単語: Flags, Countries and Nations)
10	行事予定 (テキスト: Unit 10, 単語: Weather)
11	授業打ち合わせ (歌: Old MacDonald Had a Farm, テキスト: Unit 11, 単語: Animals1)
12	病気・けが (テキスト: Unit 12, 単語: Body)
13	電話対応 (テキスト: Unit 13, 単語: Family), 最後の日 (テキスト: Unit 14), レポート
14	後期テスト (テキストと Picture Dictionary から出題), ミニレッスンについて
15	ミニレッスン準備, 各自が15分程度のミニレッスンを行う
16	各自が15分程度のミニレッスンを行う

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	総合英語	
コース名	幼児保育コース			担当者	筒井	
学 年	1年			教科番号	1914	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	幼児教育に必要な基本単語、英語の歌、正しい発音を学ぶ。 英会話に必要な基本文法を理解する。					
到達目標	幼児教育に携わる上で必要とされる基本的な英語を習得する。 発音：英語の子音と母音を正しく発音できるようにする。 単語：幼児がよく使う約1,500語を覚える。 文法：英会話に必要な基本的な文法を理解する。					
教材名	The Longman Picture Dictionary、たった10問でみるみるわかる中学英語、プリント					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	英語講師と通訳業務に従事する教員					
履修に あたっての 留意点	英語での積極的なアウトプット					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	40%	0%	10%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	授業の概要, 幼児教育に必要な英語について, 発音: A~Z, テキスト:1,2,3
2	英語の基本ルール、be動詞 (歌: ABCsong, テキスト: 4,5,6, 単語: A~Z, Opposites)
3	be動詞現在と過去 (発音: 数字で発音チェック, テキスト: 4,5,6,13, 単語: Jobs)
4	一般動詞 (歌: Bingo, テキスト: 8,9,13, 単語: Verbs)
5	数と量 (発音: 子音, テキスト: 10,11,12, 単語: Numbers, Food)
6	There is/are, 前置詞 (発音:子音, テキスト: 7,15, 単語: Positions)
7	前置詞 (発音: 子音, テキスト: 14,15,16,17,18,19, 単語: Time)
8	一般動詞と助動詞 (発音: 子音, テキスト: 20,21,22,23,24, 単語: Verbs3)
9	受け身 (歌: Row,Row,Row Your Boat, テキスト: 25,26, 単語: Verbs2)
10	to不定詞 (発音: 母音, テキスト: 27,28,29, 単語: Verbs1,2,3復習)
11	動名詞 (発音: Under the Spreading Chestnut Tree, テキスト: 30, 単語: Hobbies)
12	感嘆文 (発音: 母音, テキスト: 31, 単語: Clothes)
13	比較 (発音: 母音, テキスト: 32,33,34,35,36, 単語: Opposites復習)
14	現在完了形 (発音: 母音まとめ, テキスト: 37,38,39,40, 単語: School1)
15	時制のまとめ (発音: 子音まとめ, テキスト: 時制復習, 単語: School2)
16	前期末テスト (前期学習したところ全て)

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	児童文化	
コース名	幼児保育コース			担当者	久保田	
学 年	1年			教科番号	1915	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○	△				
授業概要	児童文化と児童文化財について学びこどもの遊びの重要性について考察する。 制作演習として児童文化財を制作する。					
到達目標	児童文化とは何か考察し理解する。 こどもの遊びについて考え、遊びの重要性を考察する。 児童文化財を理解する。 児童文化財に触れ遊んで見る。					
教材名	児童文化「近畿大学九州短期大学通信教育部テキスト					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園副園長の経験がある教員					
履修に あたっての 留意点	欠席しなしこと まじめに取り組むこと					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	児童文化とは何か、今後の講義の流れを説明する。
2	児童文化、児童文化財の概要
3	子どもにとっての遊びとは、遊びの重要性について考える。
4	伝承遊びとは、また遊びとスポーツの関連性について。
5	造形とは何かお学び、折り紙・ぬりえの実演。
6	わらべうた・童謡について学び、子どもの遊びとわらべうたの関連性を理解する
7	読み聞かせとわ何か、その意義と留意点について学ぶ
8	お話とは何か、その児童文化財としての特質
9	紙芝居の特質と魅力について
10	劇について、その種類お説明。特に人形劇を学ぶ。
11	テレビと映画、その歴史と視聴覚児童文化財としての役割
12	児童図書の種類について
13	絵本の種類と魅力、読み方の留意点
14	おもちゃと遊具の歴史と役割
15	遊び場と施設の概要
16	組織と活動概要、児童文化財としての役割
17	スクーリング「児童文化財制作」
18	〃
19	〃
20	〃
21	スクーリング2「児童文化財制作」
22	〃
23	〃
24	〃

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	保育概論	
コース名	幼児保育コース			担当者	渡邊	
学 年	1年			教科番号	1916	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	<p>子どもは遊びを通して多くのことを学ぶ。その時期や発達段階にあわせた環境を設定することは保育者としての大きな役割のひとつだと考えられている。そのため、時期や伝統行事、子どもの発達段階に合わせた遊びや環境設定を学生自ら体験することで、その大切さを学ぶ。また同時に座学で保育の原理について学び実践的且つ知識や理論に基づいた遊びが子どもに提供できる力を養う。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時期に合わせた環境設定を壁面を通して学ぶ。 ・ 遊びを通して、その子どもに何を学ばせたいかを学生自身で考え、設定することが出来る。 ・ 指示されたされた保育の原理について理論的に理解しそれを記述することが出来る。 					
教材名						
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	保育園にて勤務経験のある教員					
履修に あたっての 留意点	意欲的に学びこと 現場への訪問やボランティア活動があるため身だしなみは清潔に明るく活発な態度 で臨むことが望ましい					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	授業評価についての説明 近大の科目終末試験、及びレポート試験の説明
2	4月の自己紹介壁面を実際に製作する①
3	子どもの手形を利用した、壁面装飾を実際に製作する①
4	母の日の製作を通して行事の意味を学ぶ
5	保育・教育機関でのボランティアの意義・児童福祉施設でのボランティアの意義 子育て支援センターでのボランティアの意義
6	学生自身で考え保育雑誌から6月の壁面の構図を考える GWを通しクラス全体で製作する壁面を決定する
7	学生自身で考え保育雑誌から6月の壁面の構図を製作する
8	実際に子育て支援センターを訪問し見学・観察をする 実際に子どもと関わる
9	実際に子育て支援センターを訪問し見学・観察をする 実際に子どもと関わる
10	実際に子育て支援センターを訪問し見学・観察をする 実際に子どもと関わる
11	子どもの発達段階を学び特に身体的特徴について学ぶ 子どものリズム遊びを学び学生自身で実践する
12	立体的な壁面と子ども参加型の壁面製作の意義を学ぶ 学生自身で考え保育雑誌から7月の壁面の構図を考える
13	7月の壁面製作(手形・足型など) 全員で1つの壁面を完成させる
14	実際に子育て支援センターを訪問し見学・観察をする
15	実際に子育て支援センターを訪問し見学・観察をする
16	保護者と交流し子育て支援センターの意義を考える

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	保育内容総論	
コース名	幼児保育コース			担当者	渡邊	
学 年	1年			教科番号	1917	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	<p>保育の目的を達成するための「子ども理解」を養護と教育の視点から総合的に学び、保育の基礎構造を理解することを目指す。また子ども一人ひとりの発達を理解する力を養い適切な指導方法や保育方法を考え出す実践的な力を習得する。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針における「保育の目標」「子どもの発達」「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解する。 ・ 保育内容の歴史的変遷について学び、保育内容について理解する。 ・ 子どもや子ども集団の発達の特性や発達過程を踏まえ、観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども理解とのかわりについて学ぶ。 ・ 子どもの生活全体を通して、養護(生命の保持、情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)が一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。 ・ 保育の多様な展開について具体的に学ぶ。 ・ 保育所保育指針の改定に伴うポイントを学ぶ。 					
教材名	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定子ども園教育・保育要領					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	保育園にて勤務経験のある教員					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	30%	40%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	保育所保育指針に基づく保育の基本及び保育内容の理解
2	保育所保育指針に基づく保育内容の理解
3	保育所保育指針にみる内容の変遷
4	保育所保育指針にみる内容の変遷
5	子どもの発達の特徴
6	子どもの発達の特徴と保育内容
7	個と集団の発達と保育内容
8	個と集団の発達と保育内容
9	保育における観察
10	保育における観察
11	養護と教育が一体的に展開する保育
12	環境を通して行う保育
13	遊びによる総合的な保育
14	乳児保育・長時間の保育
15	特別な支援を必要とする子どもの保育・多文化共生の保育
16	特別な支援を必要とする子どもの保育・多文化共生の保育

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			社会的養護 I		
コース名	幼児保育コース W1		担当者	割田修平		
学 年	1年		教科番号	1918	単位数	2.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	児童養護の原理と内容について学習することを目的とする					
到達目標	<p>児童養護とは何か、なぜ児童問題が起きるのか、社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割等について学ぶとともに、子どもたちを積極的に護るための実践を裏づける原理原則について学習します。</p> <p><授業の目標></p> <p>社会的に子どもを保護する施設では、子どもの人権擁護を基本として、子どもと家族の育成に積極的にかかわっていくための知見や技術が必要となっています。このため、（1）社会的養護が必要となる養護問題の現状や背景、（2）社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割、（3）児童福祉施設などにおける養護の実際を理解し、児童観や施設養護観を養うことを目標とします。</p>					
教材名	社会的養護 I（中央法規）					
資格の取得目標	保育士資格					
授業内容と教員の実務経験の関連性	民間の保育園を経営している					
履修にあたっての留意点	基本となるの児童福祉法他関連法令に基づく社会的養護の必要性や在り方の学習に加え、近年の保育所待機児童問題、幼児哺育無償化などの動きを背景にとくに保育の質に焦点が当てられているなか、現場で着実に必要となる保育士としての資質について、現場の声をできるだけ織り込んだ実践・臨床に役立つ内容としたい。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	20%	20%	40%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	社会的養護とは何か
3	社会的養護の基本原則
4	社会的養護の基本原則
5	社会的養護の歴史的変遷
6	児童家庭福祉の一分野としての社会的養護
7	児童の権利擁護と社会的養護
8	社会的養護における虐待への取り組み
9	社会的養護の制度と法体系
10	社会的養護の仕組みと実施体系
11	家庭養護と施設養護(1)
12	家庭養護と施設養護(2)
13	社会的養護の専門性と実施者(1)
14	社会的養護の専門性と実施者(2)
15	施設養護の基本原理
16	施設養護の実際
17	施設養護とソーシャルワーク
18	施設養護の実際
19	社会的養護とは何か
20	児童家庭福祉の援助者としての資質・倫理

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教育課程総論	
コース名	幼児保育コース			担当者	村山	
学 年	1年			教科番号	1919	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	本授業では、幼稚園教育の教育課程から保育所における保育計画を含め、広く幼児教育のカリキュラムにまつわる事柄を取り扱う。教科書の読解を通して必要な知識を取得し、適宜小テストによって定着度を測る。また、幼児教育課程編成の基準となる幼稚園教育要領そのものもテキストとする。					
到達目標	1、教育実践者として、カリキュラムを編成するための基礎知識を習得する。例えば、「教育課程」などの教育の専門用語をあいまいではなく、正確に理解する等。2、演習授業、教育実習はもとより、教育実践者として自らカリキュラムを編成する際、幼稚園教育要領や保育所保育計画を適切に参照し、反映させることができるようになる。					
教材名	岸井勇雄・横山史樹『あたらしい幼児教育課程総論』同文書院、2011年。配布プリント。					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	講義形式かつ概念的な内容を多く扱うので、一方的な知識の注入にならないよう受講者側からも積極的に質問する態度を求めたい。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	60%	0%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	幼児期の特質1 発達、発達段階、発達課題
3	幼児期の特質2 ハヴィガースト、エリクソンの発達課題
4	幼児期の特質3 生涯学習における基礎としての幼児期の発達の意義
5	教育課程1 教育課程の歴史的背景知識
6	教育課程2 教育観とカリキュラム
7	幼稚園教育と保育所保育1 幼稚園と保育所それぞれの役割
8	幼稚園教育と保育所保育2 保育思想ならびに現代の社会的問題
9	教育課程の基準1 幼稚園教育、保育所保育について公的な文章を通じて理解する
10	教育課程の基準2 幼稚園教育、保育所保育について公的な文章を通じて理解する(続き)
11	幼児教育課程の基本1 実践的観点
12	幼児教育課程の基本2 子どもの「遊び」、「個性」
13	基礎となる幼児の姿1 自発的活動としての「遊び」の教育学的歴史
14	基礎となる幼児の姿2 教育課程編成における「遊び」
15	目的・目標・ねらい 教育の専門用語としての理解
16	授業のまとめ

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教育方法論	
コース名	幼児保育コース			担当者	久保田	
学 年	1年			教科番号	1920	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	幼児期の教育現場（保育所・幼稚園・認定こども園）における教育方法を学ぶ。					
到達目標	教育方法に関する理論的知識を習得する。 幼児期の教育方法に関する基本的原理を理解し説明できる。 上記を踏まえ保育現場における実践を構想できる。					
教材名	幼児教育の方法（北大路書房・小田豊、青井倫子編書）					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園副園長の経験がある教員					
履修に あたっての 留意点	近畿大学科目のためレポート・科目試験を念頭に入れて受講する。 欠席しない。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	30%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	幼児期の教育方法・保育という方法について
2	幼児期の教育方法・環境を通しての教育
3	幼児期の教育方法・遊びを通しての指導
4	幼児の主体的な生活を基盤とする保育・見える保育と見えない保育
5	幼児の主体的な生活を基盤とする保育・子どもの主体性と保育者の意図
6	幼児の主体的な生活を基盤とする保育・保育者の様々な役割
7	遊びの中の遊びを育む保育・遊びの中遊びを規定するもの
8	遊びの中の遊びを育む保育・感じる、表現する遊び
9	遊びの中の遊びを育む保育・気付く、試す、考える遊び
10	遊びの中の遊びを育む保育・友だちと関わってする遊び
11	遊びの中の遊びを育む保育・共通の目的を仁見出し協同する遊び
12	方法としての保育形態・保育形態のタイプ
13	方法としての保育形態・保育形態のプロジェクトアプローチ
14	方法としての保育形態・チーム保育
15	保育における評価とは
16	保育における評価・保育の省察と記録
17	保育における評価・外に開かれる評価
18	幼児期と小学校の教育・小学校との接続、連携
19	幼児期と小学校の教育・円滑な接続のための幼少連携
20	家庭や地域との連携
21	科目試験対策
22	科目試験対策
23	科目試験対策
24	科目試験対策

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教職概論	
コース名	幼児保育コース			担当者	荻野	
学 年	1年			教科番号	1921	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	教育とは何か、子どもにとって教師とは、教師の歴史、指導法補と考え方、カウンセリングマインド、教師の職務内容等、専門職としての教師としての能力と態を養う。					
到達目標	教職に必要な知識や考え方についての理解を深めながら、幼稚園教諭、保育士としてどのように成長していくかということ、自分自身で探求する能力態度を養う。					
教材名	「教職入門」 古橋和夫（編） 萌林出版					
資格の 取得目標	保育士・幼稚園教諭・社会福祉主事					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	高校での勤務経験と校長としての勤務経験がある教員					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	50%	20%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	教育とは何かについて考える
2	教師にとって基盤となる子どもとの信頼関係の築き方
3	日本における教師の歴史
4	現代社会の子どもを取り巻く社会環境
5	幼稚園・保育所のクラス担任の一日と一年
6	幼稚園・保育所における遊びの意味と具体的な遊び
7	保育の実態と指導計画め実習の心得
8	小学校での学習と専科教員
9	学校職員の種類と役割
10	社会教育・生涯学習教育
11	学校と関係機関との連携
12	保育の場におけるカウンセリングマインド
13	学校における社会体験とキャリア教育
14	教師をめぐる法律
15	近年の教育改革とこれからの教師
16	教師の専門性を高める研修について

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教育原理	
コース名	幼児保育コース			担当者	村山	
学 年	1年			教科番号	1922	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	本授業では、様々な分野からなる教育原理を網羅的に学ぶ。講義形式で教科書の学習をしたのちに、少人数制であることを生かしそれぞれの考えをディスカッション等で適宜発表する機会を設ける。また章ごとに小テストを実施し知識の定着度を評価する。					
到達目標	1、教育原理の枠組みで扱われる基礎知識（用語）等を身に着ける。教育思想分野から一例を挙げると、「ルソー」という人物名やその思想、教育的位置づけなどを知識として獲得すること等。2、ディスカッションを通して深めた考えを生かし、教育実践者として同様の問題に直面した時に適切に解決できる力を獲得する。3、主観的になりやすく、拡散しがちな「教育」というトピックに関し、学問的裏打ちのある「足場」を獲得する。					
教材名	垂見直樹・金俊華・大間敏行・三木一司『保育のための教育原理』ミネルヴァ書房、2019年。配布プリント。					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	積極的な参加、発言を求める。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	60%	0%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション 教育とは何か 教育学的な理解
2	教育とは何か 国家、家族、地域、社会的観点から
3	幼児教育思想の歴史 子ども間の変遷
4	幼児教育思想の歴史 西洋教育思想史から
5	幼児教育思想の歴史 日本の幼児教育史
6	戦前の教育制度史
7	戦後の教育制度史 保育者養成を中心に
8	教育の法規の基礎
9	諸外国における教育・保育
10	教育方法学の基礎
11	教育内容の基礎について 教育内容の基準
12	教育内容の実践、教育計画と評価
13	現代における生涯学習
14	教育/保育の現代的課題 幼児教育者としてのキャリア
15	教育と社会の連携 現代的課題
16	授業のまとめ

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	日本国憲法	
コース名	幼児保育コース			担当者	始澤	
学 年	1年			教科番号	1923	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	日本国憲法に関する教養を深め、人権や統治の原理を学ぶ事を眼目とする。人権論ではその制定された社会的背景とその保護の必要性、統治行為では統治機構と運用を通じて日本の権力分立の課題を検討する。なお、憲法の解釈については、その形成および、その特徴や問題点を探るため、重要とされる判例を紹介し、社会の中で日本国憲法の運用と問題点についても講義する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者を目指す者としての日本国憲法に関する基礎知識を習得し、それに必要な人権保障や統治機構の在り方を理解する。 2. 重要な法律用語の意味を理解する。条文の内容と共に、それに関する歴史・事例・倫理などについてを学ぶ。 3. 日常生活と日本国憲法の関わりを考える。日本国憲法に関する問題について考える際は、法的思考をもって理論的に説明をする。 4. 日本国憲法に関する判例について、事実関係から原告・被告の双方の立場を考慮し、関連する条文・学説から自身の見解を導く。 5. 日本国憲法の解釈の変化を、社会の変化や世界の潮流と関連付けながら考察する。 					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書：下村孝『日本国憲法』（近畿大学九州短期大学通信教育学部） ・ポケット六法(有斐閣) 					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	必ずノートを作成し、予習・復習をする。予習として教科書の該当箇所を熟読すること。授業中は日本国憲法に関する問題について質疑応答を行うため、積極的な発言を期待する。日本国憲法や時事問題に関する事例を検討するため、新聞やニュースにも注目してほしい。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	40%	0%	40%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	初回ガイダンス(学習の進め方、六法の読み方、憲法の構造、憲法の分類、日本国憲法の基本原理明)
2	人権享有主体(人権保障の歴史、法の下での平等と特別な人権、私人間適用)
3	新しい人権(幸福追求権、自己決定権、新しい人権に関する諸問題)、答案練習・小テスト(予定)
4	良心及び思想の自由(良心および思想の自由、信教の自由と政教分離に関する諸問題)
5	表現の自由①(表現の自由の性質——言論・出版の自由、集会・結社の自由)
6	表現の自由②(表現の自由の限界——報道の自由、名誉権、プライバシー権)
7	経済的自由権(職業選択の自由、営業の自由、居住移転の自由、財産権との関係)、答案練習・小テスト(予定)
8	教育権(教育権の内容、教育を受ける権利、学問の自由)、答案練習・小テスト(予定)
9	社会権(生存権、労働に関する諸権利)
10	人身の自由(憲法と刑事訴訟法との関係、刑事手続と逮捕、令状主義とその問題点)
11	国会と立法権、選挙制度(権力分立の成立過程・在り方・問題点等、国会の組織と立法過程、選挙制度)
12	内閣と行政権(議院内閣制の運用、内閣の権能、総理大臣と議員の地位)
13	司法権と裁判制度(司法権の概念、違憲審査制、裁判員制度)、答案練習・小テスト(予定)
14	平和主義と憲法第9条に関する諸問題(平和主義、憲法9条に関する問題——条約、自衛隊、憲法訴訟)
15	本年度総まとめ、法律答案の書き方(本年度の講義のまとめ、法律答案の書き方)、答案練習・小テスト(予定)
16	学期末試験

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	環境（指導法）	
コース名	幼児保育コース			担当者	高田（仮）	
学 年	1年			教科番号	1924	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	子どもを取り巻く「環境」の具体的な設定方法やその意図を自分自身で考え、実践に繋げることができるようになる。そのために座学や校外授業、演習を交えた授業とする。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節に合った保育を展開するために、日本の四季の特徴を説明することができる。 ・ 伝統行事や年中行事（カレンダーの祝日）の意味を説明することができる。 ・ 将来保育者になったときに子どもに、何を学ばせる保育がしたいのか述べる ことができる。 ・ またその方法を提示することができる。 					
教材名						
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	園長として保育園で勤務中の教員					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	40%	30%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	1960年代の保育や子ども取り巻く環境と現代の保育や子どもを取り巻く環境の違いをあげる事ができる。
2	育園に実際にいき保育室の環境、園庭での遊具の配置や子どもたちの活動を見学し、記録に残すことができる。
3	風景や食べ物などテレビ以外から感じる日本の四季を発表することができる。1年間の行事をクラス全員で挙げ、一人2つの年中行事の意味を調べ発表することができる。
4	・1年間の中で咲く植物、1年間の中で収穫することのできる野菜を挙げ表を作成することができる。 夏の植物を挙げ、何を栽培するかクラスで決定する。
5	・1年間の中で咲く植物、1年間の中で収穫することのできる野菜を挙げ表を作成することができる。 夏の植物を挙げ、何を栽培するかクラスで決定する。
6	決定した植物の栽培方法を調べ、栽培を開始する。
7	年間行事を子どもたちに教えることを想定し、保育教材や絵本等を使って10分以内にクラスメイトに伝えることができる。発表を聞きながら18種類の年間行事の説明をまとめることができる。
8	年間行事を何も見ずに書くことができる。年間で栽培できる植物や野菜を何も見ずに書くことができる。 将来どのような保育士になりたいのか述べる。

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	言葉(指導法)	
コース名	幼児保育コース			担当者	伊藤	
学 年	1年			教科番号	1925	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	<p>幼児と「言葉」との関係性を明らかにする。同時に、保育者自身が幼児教育において「言葉」の使用の仕方が多岐にわたることを自覚することの重要性を指摘する。幼児教育の現場で「言葉」の質を自覚することを促す授業を目指したいと考えている。幼児と共に、幼児の視線で物事について理解を深め、その上で、幼児に対して教育的な指導を行うために、「言葉」そのものの機能と役割について理解を促す授業を展開する。</p>					
到達目標	<p>学習の目標は学生がこの授業を履修することで、幼児教育の現場で保育者としての「言葉」の在り方や「言葉」の威力、さらにその使用方法等についての基本的な知識やイメージを獲得できるように自己形成を遂げることを目指す。そのためには、具体的かつ平易な授業を行い、講義項目が学生全体に理解が及ぶように心掛けたい。1年生の授業であるので、極力、難しい用語や表現を避けたいと考えている。この授業を履修したことで、幼児と「言葉」との関係に、深く思考を巡らし、他の教科にも活かせる授業になれば、学習の目標は最大限に達成されると考えている。</p>					
教材名	プリントを配布する。					
資格の 取得目標	言葉（指導法）は近畿大学九州短期大学を卒業するための必修教科として位置づけられている。					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	大学で言葉の機能や役割について実践的な講義を行っている。また近現代文学の講座、及びゼミを担当している。「文学」は言葉の芸術である以上、言葉によるさまざまな表現について講義を展開している。					
履修に あたっての 留意点	本スクーリングの授業のコマ数は8コマである。休まないことを心掛けること。また講義中、レポートを課し、最後の授業時間に試験を実施する。単位認定は出席状況、授業態度、レポートの提出、試験結果によって総合的に判断する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	40%	20%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	人間と言葉 人間にとって言葉が果たす役割とその意義について。
2	言葉の獲得 言葉を獲得・発達する社会環境について。書き言葉と話し言葉。
3	言葉の発達 子どもが言葉を獲得していく過程と拡大する世界について。言葉と想像力。
4	レポートの作成 400字×3枚程度。授業時間内に提出を促し、添削指導を行い、コメントを付す。
5	保育者の言葉と態度 子ども(幼児を含む)の言葉への共感と指導。
6	コミュニケーションの基本 他者との共生を図るための留意点について。言葉の指導法のポイント。
7	配慮すべき子どもへの態度 障害をもつ子どもに対する留意点と保育者の基本的態度について。
8	試験(学習した内容に関連した内容)

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	音楽表現（指導法）	
コース名	幼児保育コース			担当者	大澤	
学 年	1年			教科番号	1926	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	スイスの作曲家、音楽教育家エミール・ジャック・ダルクローズが創案したリトミックを学習する。					
到達目標	幼稚園、保育園で実践できる内容で、3歳児指導法・ピアノ演奏法とリトミックの基礎的な動きを学ぶ。					
教材名	幼稚園、保育園のためのリトミック 3歳児（リトミック研究センター 出版） 幼稚園、保育園のためのリトミック指導資格リズム課題練習用CD 2級（リトミック研究センター）					
資格の取得目標	リトミック研究センター認定資格 幼稚園、保育園のためのリトミック指導資格2級取得を目標					
授業内容と教員の実務経験の関連性	幼稚園教諭の経験を有する教員					
履修にあたっての留意点	予習の必要はありませんが、授業後教本内譜例は個人練習をしてください。授業開始20分以降は欠席扱いとなります。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	20%	0%	30%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	①リトミックについて ②楽しいリトミックの経験(1)
2	①楽しいリトミックの経験(2) ②強弱、テンポ、空間、アクセント(1) ③基本的な動き ④基礎リズム(1)2拍子
3	①楽しいリトミックの経験(3) ②基本的な動き(2) ③基礎リズム(2)2拍子 ④拍子(1)
4	①リズムの演奏法(3歳児指導法-1学期)
5	①3歳児指導法-1学期
6	①リズムの演奏法(3歳児指導法-2学期)
7	①3歳児指導法-2学期
8	①楽しいリトミックの経験(4) ②基本リズム(3)2拍子 ③拍子(2)
9	①3歳児指導法-3学期
10	①リズムの指導法(3歳児指導法-3学期) ※認定試験公示案内
11	①楽しいリトミックの経験(5) ②基本リズム(4)3, 4拍子 ③拍子(3)
12	3歳児指導法総括-1~3学期
13	①楽しいリトミックの経験(6) ②リズムカノン(1)導入 ③リズムフレーム(1)2, 3拍子
14	①リズムの演奏法(3歳児指導法-1~3学期)
15	①リトミックの理論とダルローズについて
16	2級 資格認定試験

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	特別講義 I	
コース名	幼児保育コース			担当者	久保田	
学 年	1年			教科番号	1927	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	遊びの実演(絵本、紙芝居、折り紙、ねんどなど) 近大九州短期大学レポート設題集より指定の課題をレポートにまとめる。 近大九州短期大学科目試験対策を行う。					
到達目標	児童文化財の演習を通じて絵本、紙芝居の魅力を味わう。 児童文化財の演習を通じて折り紙、ぬりえ、ねんどといった遊びを楽しむ。 書くことの意義と楽しみを味わう。 第一段階・400字～1500字を目標とする。 第二段階・1500字以上を目標とする。 レポート設題を適切に書く。					
教材名	近畿大学九州短期大学通信教育部テキスト					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園副園長の経験がある教員					
履修に あたっての 留意点	欠席しないこと。 まじめに授業を受けること。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	30%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	ガイダンス
2	書く楽しみ、気楽な気持ちでレポートを書く。
3	各自の幼少期の遊びについてグループ討論
4	自分の幼少期の遊びについてレポートを書く
5	図書館訪問
6	絵本の読み聞かせ演習
7	絵本の読み聞かせ演習
8	紙芝居の演習
9	紙芝居の演習
10	絵本、紙芝居の魅力についてレポート作成
11	折り紙演習
12	ぬりえ演習
13	折り紙、ぬりえの魅力についてレポート作成
14	紙粘土で遊ぶ。
15	各自の好きな施設についてレポート作成
16	遊びの重要性についてレポート作成
17	見える保育、見えない保育とは何か考える。
18	見える保育、見えない保育の具体例をグループ討論する。
19	見える保育、見えない保育についてレポート作成。
20	見える保育、見えない保育についてレポート作成。
21	幼児教育におけるこどもの主体性について考える。
22	幼児教育におけるこどもの主体性についてグループ討論。
23	幼児教育におけるこどもの主体性についてレポート作成。
24	幼児教育におけるこどもの主体性についてレポート作成。
25	幼児にとっての遊びとは、遊びからの学びを考察する。
26	遊びを通しての学びについてグループ討論する。
27	遊びを通しての学びについてのレポート作成。
28	遊びを通しての学び似付いてのレポート作成。
29	近大レポート課題1作成。
30	近大レポート課題1作成。
31	近大レポート課題2作成。
32	近大レポート課題2作成。

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	情報処理 I	
コース名	幼児保育コース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1928	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	アプリケーションソフトWord 2016 (Ver.) の利用技術と知識を学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①ブラインドタッチを修得する。 ②ビジネス文書（社内、社会）の作成ができる。 ③編集機能を修得する。 ④表の作成と編集ができる。 ⑤画像処理を使ってビジュアルな文書を作成できる。 ⑥はがき作成（年賀状等）ができる。 ⑦差し込み印刷ができる。 					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・実教出版「30時間でマスター Word 2016」 発行者：戸塚雄式 ・授業配付プリント 					
資格の取得目標	1年次前期 10月7日（月）受験 サーティファイ主催 Word文書作成処理技能認定試験3級合格を目標とする。					
授業内容と教員の実務経験の関連性	OA商社、コンピュータ教育関連機関の経験を有する教員					
履修にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト、USBメモリ、筆記用具（マーカー等）を必ず持参する。忘れた場合は、授業前に申し出ること。 ・スマートフォン、PDA等の使用は禁止する。 ・授業に関係のない私語、授業妨害は禁止する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	35%	0%	30%	35%	0%	100%

回数	講義内容
1	自己紹介、学習目標、目標検定について、実習室の使い方とルール、履修にあたっての留意点
2	入力測定(10分)、2章 WORDの起動、文字の入力方法、記号の入力
3	3章 文書の作成(書式設定)、ページ番号の挿入
4	ブラインドタッチの練習(Mikatype)、文字の入力練習、データの配付(共有フォルダ⇒各自USBへ)
5	複写・削除・移動、ブラインドタッチ練習(10分)
6	4章 編集機能(1)、社内文書
7	4章 編集機能(2)、社外文書
8	練習問題(社内文書、社外文書)
9	4章 表の作成
10	4章 表の編集
11	4章 画像・テキストボックスの挿入
12	練習問題
13	5章 イラスト・画像の挿入
14	5章 ワードアートの挿入と編集
15	5章 図形描画
16	5章 テキストボックス、スクリーンショット
17	5章 スマートアートの挿入と編集
18	練習問題
19	5章 段組み・ドロップキャップ・ページ罫線
20	6章 はがき作成
21	6章 差し込み印刷
22	暑中見舞い①
23	暑中見舞い②
24	サーティファイ検定過去問題の解き方(例題)
25	過去問題
26	〃
27	〃
28	〃
29	〃
30	〃
31	〃
32	模擬問題(サンプル問題)と総まとめ

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	情報処理Ⅱ	
コース名	幼児保育コース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1929	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	アプリケーションソフトExcel 2016 (Ver.) の利用技術と知識を学ぶ。					
到達目標	①表計算ソフトで表作成ができる。 ②四則演算式や関数式（数学/三角、統計、論理）を修得する。 ③エラー表示の意味と対処法がわかる。 ④グラフ（棒、積み上げ、折れ線、円、ドーナツ、レーダー、3-D、複合）の作成ができる。 ⑤基本的なデータベース（並べ替え、抽出、検索、置換）が修得できる。					
教材名	・実教出版「30時間でマスター Excel 2016」 発行者：戸塚雄弐 ・授業配付プリント					
資格の取得目標	1年次後期 1月31日（金）受験 サーティファイ主催 Excel表計算処理技能認定試験3級合格を目標とする。					
授業内容と教員の実務経験の関連性	OA商社、コンピュータ教育関連機関の経験を有する教員					
履修にあたっての留意点	・テキスト、USBメモリ、筆記用具（マーカー等）を必ず持参する。 忘れた場合は、授業前に申し出ること。 ・スマートフォン、PDA等の使用は禁止する。 ・授業に関係のない私語、授業妨害は禁止する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	35%	0%	30%	35%	0%	100%

回数	講義内容
1	自己紹介、学習目的、パソコン室の使い方とルール、テキストの使い方、評価について、履修にあたっての留意点
2	1章 Excelの起動、Excel入力画面、ワークシート、セルへの入力
3	1章 数値データの入力、四則演算式の入力、オートフィルタ機能
4	2章 合計の計算(SUM関数)、エラー表示について(プリント配付)
5	3章 ワークシートの活用(1) 行、列の挿入・移動・削除、セル参照・相対参照について
6	3章 セル参照・相対参照(計算式の複写)、平均(AVERAGE関数)の計算
7	3章 表示形式の変更(1)、便利なデータ入力方法
8	3章 罫線処理、オートカルク・セルのスタイル
9	3章 練習問題
10	4章 セル番地の絶対参照、割合の計算
11	4章 表示形式の変更(2)、文字属性の変更
12	4章 最大値の検出(MAX・MIN関数)、データのカウンタ(COUNT・COUNTA関数)
13	4章 セルの保護、関数練習問題
14	4章 端数処理関数(ROUND、ROUNDUP、ROUNDDOWN、INT)
15	4章 順位づけ件数(RANK、EQ)
16	4章 条件の判定(IF関数)、練習問題
17	4章 条件の判定(IF関数)とネスト、NULLの使い方
18	4章 条件付き書式、4章の練習問題
19	2章 グラフの作成、5章 グラフの作成(1)
20	5章 グラフの作成(1)、練習問題
21	6章 グラフの作成(2)、練習問題
22	7章 データベースとは
23	7章 データベースとは、並べ替え(ソート)
24	7章 データベースとは、抽出(フィル)
25	サーティファイ検定対策 過去問題の解き方(例題)
26	サーティファイ検定対策 過去問題
27	〃
28	〃
29	〃
30	〃
31	〃
32	模擬問題(サンプル問題)と総まとめ

平成31年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	キャリアデザインⅠ	
コース名	幼児保育コース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1930	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育・福祉分野の仕事を理解すること」を目標として、社会性や人間性、コミュニケーション能力を学ぶ。 ・ボランティア活動を通じて保育や福祉の現場を体験し、現場力や対人能力を身に付ける。 ・保育の基本用語や保育漢字（読み書き）を学ぶ。 					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理解する力、伝える力、話す力、聴く力を修得する。 2. 大きな声で、自分から挨拶ができる。（挨拶は自分から） 3. 学校行事やボランティア等に、積極的に参加ができる。 4. 先輩や級友、先生に対し礼儀正しい態度で接することができる。 5. 連絡・相談・報告・確認ができる。 6. 人前で自己紹介、自己PR、自分の目標などを話すことができる。 7. 自分の持ち味や個性を分析・把握し「自己ブランド」を確立できる。 8. 保育用語や保育漢字の読み書きができる。 					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・保育のマナーと言葉（わかば社） ・保育の基本用語（わかば社） ・自己ブランディング 					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	OA商社、コンピュータ教育関連機関の経験を有する教員					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物は期限を守ること。 ・報告・連絡・相談・確認をすること。 ・学校行事やボランティア活動に積極的に参加すること。 ・スマートフォンなど授業に関係のない私物の使用は禁止する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション(簡単な自己紹介、クラス目標の発表など)
2	クラス委員長、副委員長、行事委員の選出等
3	「学生の手引き」から学生生活のルールやマナー等
4	1分間スピーチ、校長面談の経緯と目的、スケジュールについて
5	1分間スピーチ学生意識調査(前期)の実施、個人ガイダンスについて
6	1分間スピーチ、自己ブランディングプログラム、個人ガイダンスによる学生把握
7	〃
8	〃
9	〃
10	〃
11	グループワーク、テーマについての話し合い
12	楠祭について、1年生の役割分担等
13	グループワーク、テーマについての話し合い
14	暑中見舞い作成
15	「学生の手引き」から前期末試験の評価と単位の説明
16	合宿研修について、夏期休業中について
17	夏期休業中の反省、後期への動機付け
18	保育実習・教育実習について、実習先の希望書の提出
19	スポーツ大会について
20	特別授業週についての説明、自己ブランディングプログラム、個人ガイダンスによる学生把握
21	自己ブランディングプログラム、個人ガイダンスによる学生把握
22	〃
23	〃
24	〃
25	〃
26	〃
27	〃
28	実習事前指導、保育のマナーと言葉、履歴書の書き方(下書き)
29	〃
30	〃
31	〃
32	〃

回数	講義内容
33	履歴書の作成
34	〃
35	〃
36	〃
37	〃
38	〃
39	実習に向けての準備
40	〃
41	〃
42	〃
43	〃
44	〃
45	〃
46	〃
47	〃
48	1年間のまとめ、新年度までのスケジュール説明(登校日・就職行事等)